



# ロータリー 5 速ミッションキット 取扱説明書

商品番号：02 04 1382

適応車種及びフレーム番号

スーパーカブ70 : C70 1000001 ~ 1099999

: C70 1200001 ~ 1299999

: C70 1300001 ~ 1399999

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。また、他社製品（エンジン、クラッチ等）との組み合わせは一切なさないで下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

当製品の取り付けには、クランクケース分解等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。また、各車両の仕様合ったガスケット（シリンダーガスケット等）パッキン等が別途必要です。

当製品の取り付け後は、ファイナルギヤの調整が必要です。エンジン使用や使用目的に合わせてドライブおよびドリブンスプロケットを選択して下さい。

適応車種以外や他社製品との組み合わせについての問い合わせには、一切お答え致しかねます。

当商品の各部品は、当社製リターン式5速ミッションとの互換性はありません。必ずロータリー5速ミッション専用部品をご使用して下さい。

チューンナップ用部品は、各部品の強度、耐久性はある一定レベルで確保されていますが、取り扱い方法を誤ると破損する可能性が極めて高くなります。その為ノーマルと同じではなく、あくまでもスペシャルパーツという意識でご使用下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

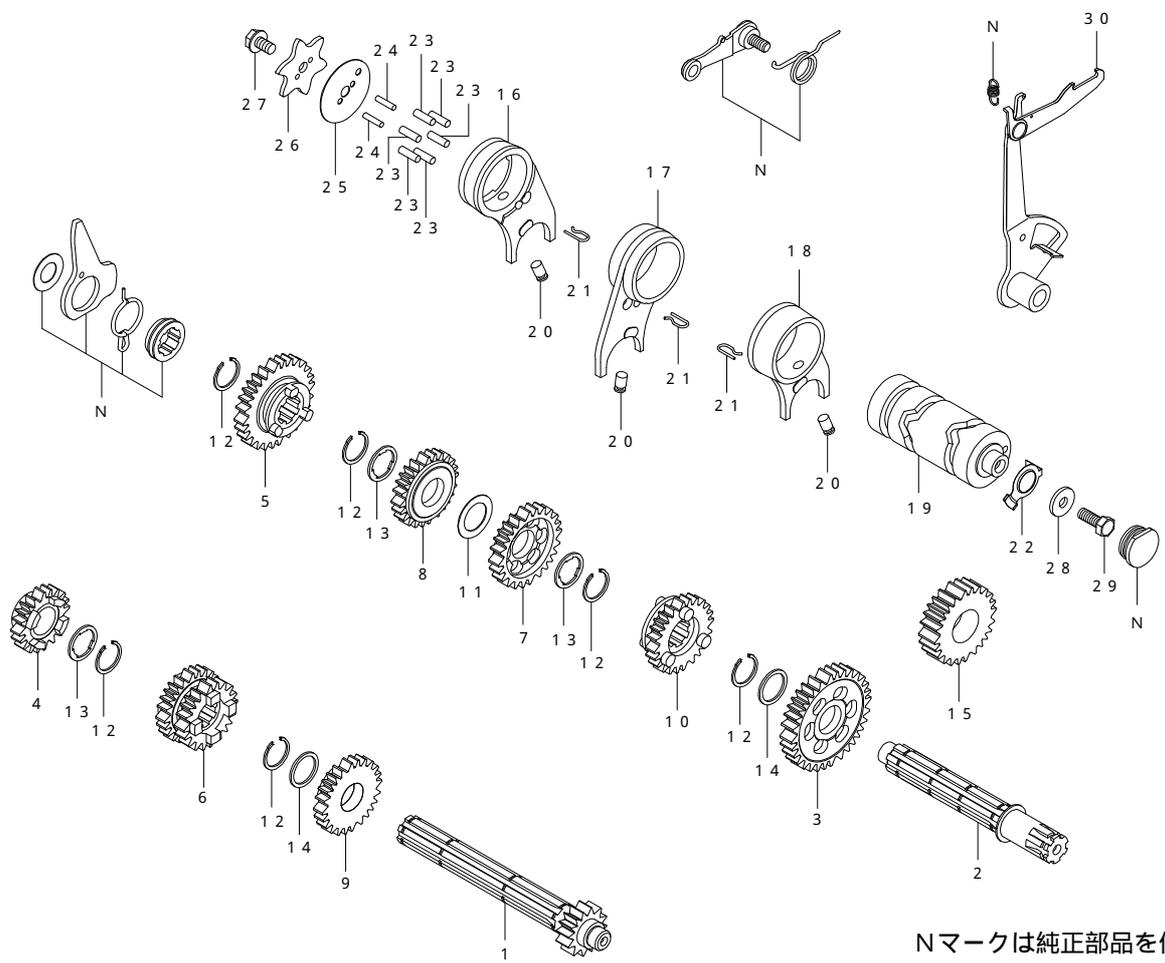
**注意** 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ・キット内部部品および指示された部品以外の使用や加工は、一切行わないで下さい。（部品の破損させる原因となります。）
- ・加工を行う際は、防塵眼鏡、防塵マスク、手袋など保護用具を使用して作業を行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ・再使用する部品は、洗浄後点検を行い、摩耗や損傷があれば新品と交換して下さい。（部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。）
- ・キックスタータでエンジンを始動する場合、スタータアームに抵抗がかかった所（スタータピニオンとラチェットが噛み合った状態）よりスタータアームを確実に踏みおろして下さい。（部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。）
- ・当製品組み込み後は、無理なシフトチェンジは避け確実なシフトチェンジを心がけて下さい。また、指示されたエンジン回転数を超えるようなシフトダウンはしないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。）
- ・他社製の点火系部品を使用された場合、キックスタータでエンジン始動の際に衝撃荷重によりギヤが破損する可能性が有りますので、他社製品との組み合わせは堅くお断り致します。

**警告** 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。）
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

~ 商 品 内 容 ~



Nマークは純正部品を使用

番号	部 品 名	数量	補修部品番号	入数	番号	部 品 名	数量	補修部品番号	入数
1	メインシャフト (14T)	1	23211-GES-T00	1	16	R.ギヤシフトフォーク COMP.	1	24211-181-T30C	1
2	カウンターシャフト	1	23221-GES-T00	1	17	C.ギヤシフトフォーク	1	24231-181-T11	1
3	カウンターシャフトファーストギヤ (33T)	1	23421-GES-T00	1	18	L.ギヤシフトフォーク	1	24221-181-T10	1
4	メインシャフトセカンドギヤ (18T)	1	23431-GES-T10	1	19	ギヤシフトドラム	1	24301-GB2-T00	1
5	カウンターシャフトセカンドギヤ (29T)	1	23441-GES-T00	1	20	ギヤシフトフォークガイドピン	3	241-43	3
6	メインシャフトサードフォースギヤ (21T/24T)	1	23451-GES-T00	1	21	ギヤシフトフォークガイドピンクリップ	3	241-20	1
7	カウンターシャフトサードギヤ (25T)	1	23461-GES-T00	1	22	ニュートラルスイッチローター	1	020-04-0021	1
8	カウンターシャフトフォースギヤ (23T)	1	23481-GES-T00	1	23	ダウエルピン 4X10	6	241-42	5
9	メインシャフトフィフスギヤ (26T)	1	23491-GES-T00	1	24	ストッパープレートセッティングピン	2	241-24	1
10	カウンターシャフトフィフスギヤ (21T)	1	23501-GES-T00	1	25	ギヤシフトドラムサイドプレート	1	241-17	1
11	スラストワッシャ B 17MM	1	24015-0018	1	26	ギヤシフトドラムストッパープレート	1	24411-GES-T00	1
12	エキスターナルサークリップ 17MM	6	241-39	5	27	ロックボルト 6MM	1	24015-0033	1
13	スプラインワッシャ 17MM	3	241-38	5	28	プレーンワッシャ 6X17X2.3	1	241-36	1
14	スラストワッシャ S 17MM	2	241-40	2	29	六角ボルト 6X16	1	241-44	3
15	キックスターターピニオン (25T)	1	28211-165-T20	1	30	ギヤシフトアーム COMP.	1	020-04-0022	1

補修部品は補修部品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいませ  
お願い致します。

## 特長

5速ミッション専用の転位歯車設計を施しています。

鍛造シフトフォークを使用し、フォーク自体の強度アップを計っています。また、ギヤ抜け防止の為、テーパ加工を各ギヤの噛み合い部に施しています。

車両走行時に5速からニュートラルにシフト出来ない安全設計です。

## ～取り付け要領～

セット内容を、ご確認下さい。

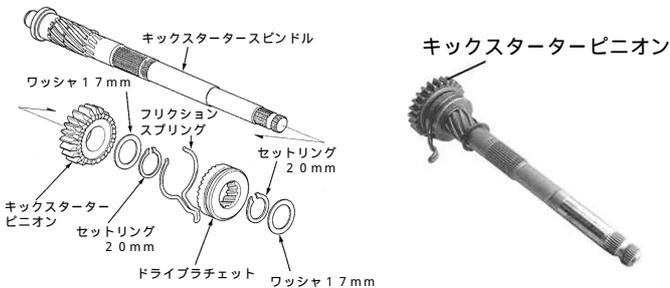
### 取り付け準備

○車両をメンテナンススタンド等で安定させ、サービスマニュアルを参考にエンジンを降ろします。

○取り外したエンジンを台等で安定させ、サービスマニュアルを参考にクランクケースを分解します。クランクケースの合せ面のガスケットを剥がします。

合せ面に傷や歪みがあればオイルストーンを使用して修正して下さい。

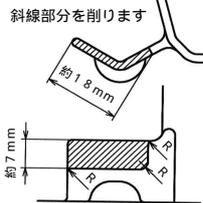
○キックスターースピンドルのスターターピニオンをキット内のスターターピニオンに交換します。



○L .クランクケースの○印部分をプライヤなどで折り、ヤスリやリューターで○印部分を削ります。(図参照)L .クランクケースを洗浄します。ベアリング部分にゴミや切り粉が入らないようにテープなどでマスキングして下さい。ケースのエッジ部などで手を切らないよう、手袋を使用して作業を行って下さい。



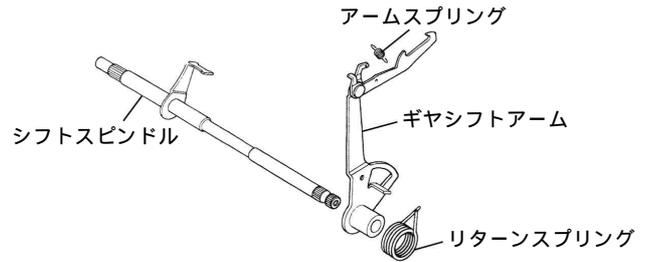
L .クランクケース加工



クランクケースの種類によりキックスターピニオンがL .クランクケースと干渉して組み付け出来ない場合は 印部分をスターターピニオンとL .ケースに1mm程度のすき間が出る様にケースを加工して下さい。



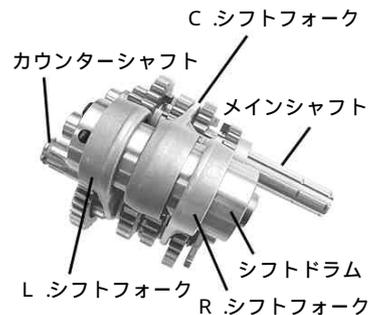
○ギヤシフトアームをキット内部品と交換し、純正品のアームスプリング、リターンズプリング、シフトスピンドルを同様に取り付けます。スプリング脱着時、指などを挟まない様十分注意して作業を行って下さい。



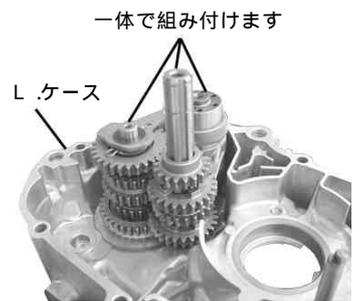
### トランスミッション組み付け

○適当な台を用意し、L .クランクケースを置きます。

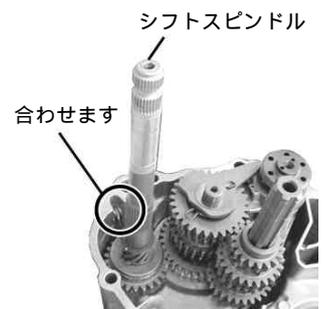
○メインシャフトとカウンターシャフトの各ギヤと、シフトドラム、シフトフォーク、クランクケースのベアリング部にエンジンオイルを塗布し、メインシャフトとカウンターシャフトのギヤを噛み合わせ、シフトフォークをギヤの溝にセットします。



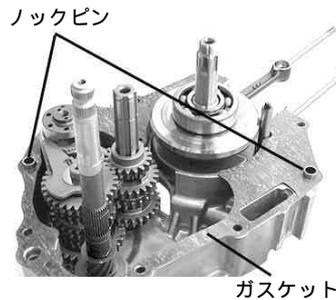
○L .クランクケースにワッシャの取り忘れがないか確認し、ミッションをニュートラル状態(ニュートラルスイッチとスイッチロータの位置が合っている所)にして、カウンターシャフト側のオイルシールのリップをめぐれ上がらないように注意しながら、L .クランクケースに組み付けます。純正部品のギヤカラー、スプリング、ドラムロックプレート、スラストワッシャをカウンターシャフトに取り付けます。



○スターースピンドル、スターターピニオンにエンジンオイルを塗布し、フリクションスプリングをL .クランクケースの溝に合わせてスターースピンドルを取り付けます。

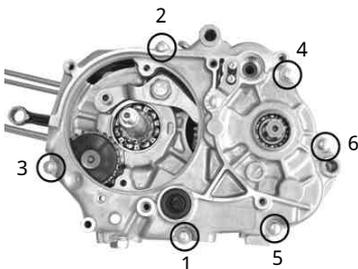


○クランクシャフト大端部と両端ベアリングにオイルを塗布し、L.クランクケースに取り付けます。クランクケースの合わせ面を脱脂し、ロックピン2本と新品のクランクケースガスケットを取り付けます。



○R.クランクケースを合わせて、L.クランクケースが上になるようにします。クランクケースボルトを取り付け対角に2~3回に分けて規定トルクで締め付けます。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$   
(1.0 kgf · m)



○シフトドラムサイドワッシャの角が丸くなっている方をシフトドラム側に向け、6角ボルトを規定トルクで締め付けます。

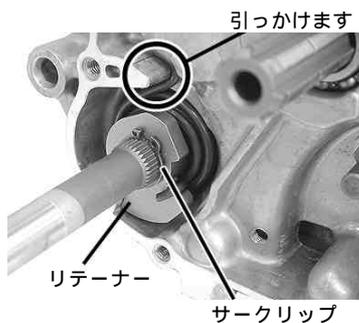
$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$   
(1.2 kgf · m)



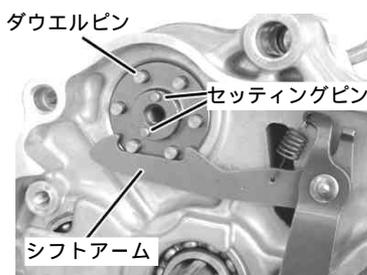
○ラバープラグを取り付けます。



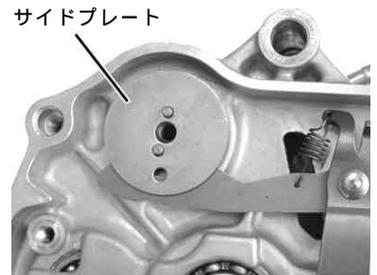
○R.クランクケースを上にし、スタータースピンドルにキックスタータースプリングとキックスプリングリテーナーを取り付け、スプリング端部をケースに引っかけます。エキスターナルサークリップを取り付けます。指を挟まないように十分注意して下さい。



○シフトドラムにダウエルピン6本とストッパープレートセッティングピン2本を取り付け、加工したギヤシフトアームを取り付けます。シフトスピンドル、ギヤシフトアームの摺動面にエンジンオイルを塗布して下さい。L.クランクケースのシフトスピンドル用オイルシールのリップ部にグリースを塗布して下さい。

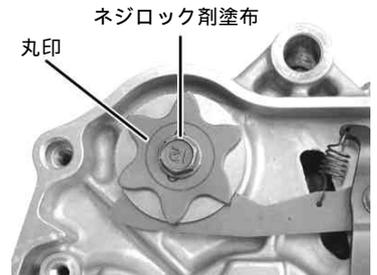


○シフトドラムサイドプレートの穴をシフトドラムセッティングピンに合わせて取り付けます。



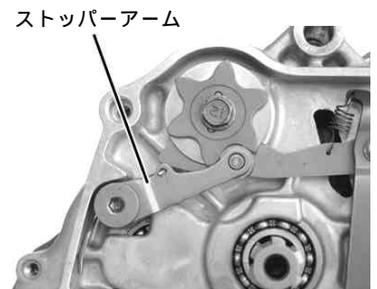
○シフトドラムストッパープレートの丸印が見えるようにシフトドラムセッティングピンに取り付けます。ロックボルトのネジ部にネジロック剤を塗布して指定トルクで締め付けます。

$T = 16 \text{ N} \cdot \text{m}$   
(1.6 kgf · m)



○ストッパーアームにスプリングをセットし、ストッパープレートを合わせてケースに取り付け、規定トルクで締め付けます。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$   
(1.0 kgf · m)  
指を挟まないように十分注意して下さい。



○メインシャフトを手で回しながら、ストッパープレートのロックボルトをソケットレンチ等で回転させギヤの入り具合を確認します。メインシャフト、カウンターシャフトにスラスト方向の遊びが有ることを確認して下さい。シフトドラムは、無理に回さないで下さい。

取り外した各部品をサービスマニュアルを参考に組み付けます。トランスミッションがニュートラル状態でエンジンを始動し、各部のオイル漏れを点検します。異常が無ければ安全な場所で低速の走行テストを行いミッションの作動を確認して下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>